

公式記録 スノーボード搬送並びにスノーボード操法記録

ゼッケン	チーム名	所要タイム	第1走者 ペナルティ	第2走者 ペナルティ	第3走者 ペナルティ	合計タイム	順位
1	宮城 A	195.6		2	12	209.6	10
2	長野	260.2	65	23	19	367.2	23
3	岩手 B	178.8		2	2	182.8	1
4	群馬 C	200.5	17	4	6	227.5	14
5	岐阜 B	190.4	10		6	206.4	7
6	福島 B	176.4	10	3	7	196.4	3
7	長野	318.9	53	50	23	444.9	24
8	茨城 A	390.7	43	21	2	456.7	25
9	長野 C	216.9		5	1	222.9	13
10	群馬 B	199.5				199.5	6
11	岩手 A	206.7		1	12	219.7	12
12	長野 A	184.8		6	8	198.8	5
13	秋田 A	223.2	10	7		240.2	17
14	青森 A	220.0		13	2	235.0	15
15	群馬 A	207.5	60	2	1	270.5	18
16	岐阜 A	214.0	62		1	277.0	19
17	新潟 A	184.9	1		2	187.9	2
18	長野 D	179.9		16	2	197.9	4
19	福島 A	202.0		6	5	213.0	11
20	山形 A	186.6		12	10	208.6	9
21	富山 A	217.5	5	1	10	233.5	16
22	福井 A	257.7	33	40	12	342.7	22
23	栃木	269.6	5	51	15	340.6	21
24	滋賀 A	240.8	80	10	5	335.8	20
25	長野 B	178.5	5		23	206.5	8

三角布競技成績

ゼッケン	チーム名	鎖骨つり	眼	膝・頭	肩	下 ねんざ	耳・胸	合計	順位
1	宮城 A	(3) 42.6	(1) 38.6	(1) (3) 1.0 4.8	(3) 49.2	(3) (1) 55.6	(3) (1) 1.0 4.9	334.7	7
2	長野 F	(1) 55.0	(1) 43.6	(1) (1) 1.0 5.5	(3) 1.0 3.1	(1) (1) 1.2 5.6	(3) (1) 5.5 7	381.5	14
3	岩手 B	(3) 53.5	(3) 45.6	(3) (3) 1.0 5.6	(1) 48.5	(5) (3) 1.1 8.9	(3) (3) 1.2 0.1	399.2	17
4	群馬 C	(1) 44.3	(1) 46.6	(3) (1) 1.0 4.2	(1) 48.4	(1) (1) 1.1 4.7	(3) (1) 1.0 5.5	356.7	10
5	岐阜 B	(3) 46.4	(1) 46.7	(1) (1) 5.0 0	(3) 1.1 7.3	(1) (1) 1.1 7.5	(1) (1) 1.2 1.4	392.7	16
6	福島 B	(3) 49.3	(1) 45.6	(1) (3) 5.9 1	(3) 5.8 6	(1) (3) 4.5 8	(3) (1) 5.1 2	328.6	5
7	長野 E	(3) 48.2	(1) 41.8	(1) (1) 1.0 3.1	(3) 43.7	(3) (1) 5.2 8	(3) (3) 1.1 2.7	341.3	8
8	茨城 A	(3) 36.7	(3) (1) 48.3	(1) (1) 5.8 1	(3) 49.7	(3) (3) 1.0 7.7	(101) (1) 1.1 1.9	451.4	21
9	長野 C	(1) 45.4	(3) 52.0	(3) (3) 1.0 8.8	(3) 41.0	(3) (1) 4.5 7	(1) (3) 5.9 0	332.9	6
10	群馬 B	(1) 1.0 1.1	(3) 1.0 9.2	(3) (1) 1.1 4.5	(1) 3.9 3	(1) (1) 1.0 0.5	(1) (1) 5.8 7	376.3	13
11	岩手 A	(103) 1.0 6.1	(3) 56.7	(1) (1) 1.0 6.7	(3) 5.6 0	(1) (1) 1.0 9.1	(1) (1) 1.0 8.4	497.7	22
12	長野 A	(1) 39.7	(1) 43.8	(3) (1) 5.2 3	(3) 2.8 3	(3) (1) 3.8 4	(1) (1) 3.9 3	256.8	1
13	秋田 A	(1) 46.9	(3) 44.4	(1) (3) 1.0 7.9	(1) 5.2 6	(3) (3) 1.1 5.0	(103) (3) 1.4 9.0	516.8	23
14	青森 A	(3) 1.2 6.0	(105) 1.3 3.7	(1) (1) 1.0 3.4	(3) 1.1 6.9	(1) (1) 1.1 1.4	(103) (3) 1.3 1.3	703.7	25
15	群馬 A	(3) 41.7	(1) 37.8	(1) (1) 5.5 9	(3) 43.8	(3) (1) 4.9 4	(1) (3) 4.7 6	293.2	2
16	岐阜 A	(1) 59.9	(3) 46.5	(1) (1) 1.0 2.1	(1) 51.4	(3) (3) 1.0 6.6	(1) (1) 1.0 4.1	365.6	11
17	新潟 A	(3) 55.1	(3) 1.0 0.0	(1) (3) 1.0 5.5	(1) 4.9 0	(1) (1) 1.1 5.3	(1) (3) 1.0 6.2	388.1	15
18	長野 D	(3) 56.0	(3) 40.7	(1) (3) 1.0 3.7	(1) 4.7 9	(1) (3) 5.6 9	(3) (1) 5.8 3	342.5	9
19	福島 A	(1) 55.0	(3) 46.2	(3) (3) 1.0 2.2	(1) 4.4 3	(3) (1) 5.2 0	(1) (1) 4.8 7	325.4	4
20	山形 A	(1) 54.3	(1) 47.0	(1) (1) 1.0 3.8	(1) 5.5 0	(1) (1) 1.1 1.8	(1) (1) 1.1 5.0	378.9	12
21	富山 A	(3) 56.1	(3) 50.0	(1) (3) 1.0 1.1	(1) 1.0 8.1	(1) (3) 1.2 2.5	(1) (3) 1.2 2.6	419.4	19
22	福井 A	(3) 52.5	(3) 3.9 9	(1) (3) 1.1 6.0	(3) 1.0 9.5	(5) (3) 1.2 8.3	(3) (3) 1.2 3.2	436.4	20
23	栃木	(5) 48.8	(1) 42.8+1.0	(3) (1) 1.0 7.5	(1) 1.2 2.6	(3) (3) 1.1 0.6	(3) (3) 1.2 7.1	541.4	24
24	滋賀 A	(3) 50.2	(3) 5.5 9	(3) (3) 1.0 5.8	(3) 1.0 0.5	(5) (3) 1.1 0.0	(3) (3) 1.1 5.8	407.2	18
25	長野 B	(1) 49.3	(3) 42.1	(1) (1) 4.2 7	(1) 46.7	(3) (1) 1.0 9.5	(1) (1) 1.0 0.5	323.8	3

() はペナルティ

1987

ザイル競技成績

ゼッケン	チーム名	二重結び	タイホ結び	フレンチホーライン	空中もやい	ふし結び	蝶結び	胴もやい	ふたえつなぎ	合計	順位
1	宮城A	4.6	6.2	13.0	9.4	8.2	5.9	(2) 8.2	9.8	67.3	17
2	長野F	6.5	3.3	6.2	9.3	9.6	6.1	6.7	7.8	55.5	6
3	岩手B	7.8	3.4	13.9	12.8	(2) ₂ 0.0	6.4	(5) 6.4	8.2	85.9	24
4	群馬C	6.8	(5) 4.9	8.5	(5) ₁ 5.0	(2) 6.7	3.5	4.4	4.4	66.2	16
5	岐阜B	(2) ₁ 0.3	2.4	14.0	11.7	13.2	12.3	9.4	9.4	84.7	21
6	福島B	7.3	2.2	9.5	10.5	(1) ₁ 3.8	6.6	6.7	13.2	70.8	18
7	長野E	6.9	2.8	10.8	10.3	9.9	(5) 4.5	6.1	9.8	66.1	15
8	茨城A	(3) 8.3	4.1	9.5	6.3	(3) ₁ 0.0	4.6	(1) 6.1	6.1	62.0	12
9	長野C	7.3	2.6	9.7	7.0	8.6	4.5	8.7	5.6	54.0	5
10	群馬B	6.9	2.9	8.0	(2) ₁ 3.8	7.5	4.8	7.3	(1) 5.9	60.1	10
11	岩手A	7.0	2.3	10.3	15.4	17.5	10.8	(2) 9.8	16.5	85.6	23
12	長野A	4.7	1.7	4.0	(2) 7.4	5.3	2.7	(2) 5.5	4.0	29.3	1
13	秋田A	5.6	2.4	(3) ₁ 2.1	22.3	10.3	5.1	8.6	8.3	77.7	20
14	青森A	5.7	2.0	4.9	(2) 7.9	14.5	5.9	9.8	8.7	61.4	11
15	群馬A	5.8	(5) 2.4	6.2	15.2	7.0	5.9	6.1	9.1	62.7	13
16	岐阜A	5.0	2.3	6.2	9.0	6.3	4.2	7.7	6.1	46.8	2
17	新潟A	6.3	2.0	7.0	12.5	(3) 9.1	(5) ₁ 5.7	(2) ₁ 0.5	12.3	85.4	22
18	長野D	6.3	2.0	5.7	(2) ₁ 2.6	9.3	4.6	8.6	6.3	57.4	7
19	福島A	8.0	1.8	4.5	6.0	12.7	4.8	8.8	5.9	52.5	4
20	山形A	14.6	1.8	5.8	9.9	7.3	5.6	6.2	6.4	57.6	8
21	富山A	9.3	2.3	9.6	8.9	10.6	4.5	6.1	(1) 6.0	58.3	9
22	福井A	9.4	4.3	8.6	10.7	(2) ₁ 2.3	5.9	(2) ₁ 0.7	10.5	76.4	19
23	栃木	(5) 6.2	(5) ₁ 0.7	(5) ₁ 1.6	11.7	10.8	(5) ₁ 3.2	5.1	9.1	98.4	25
24	滋賀A	7.5	(5) 2.6	8.0	(1) 8.7	8.0	6.1	(3) 9.3	6.7	65.9	14
25	長野B	6.0	1.7	7.6	7.7	7.8	4.5	7.0	5.9	48.2	3

上左()はペナルティ

フリースタイルスキー部会報告

1. 部長報告

部会長 宮沢 一 英

わが国のフリースタイルスキーにとって62年度は実に有意義なシーズンであった。
'88冬季オリンピックへの出場権を得る為に7戦のワールドカップにナショナルチームを派遣し世界のレベルを確認すると共に、エアリアル、パレエの種目に関しては予想以上の成績をおさめ、特に女子エアリアル種目として史上初の2位入賞という輝かしい成果を得た。

日本からもオリンピックへ何人かの選手が選ばれる可能性が出て来たといえよう。
又、国内的にも、本連盟公認としては初めてであるが、フリースタイルスキーのデモンストレーションを新潟県安塚町主催の“さよなら後楽園”というイベントにおいて実施し、(財)東京都スキー連盟主催の第3回の国際競技会のテレビ放映がなされる等で、フリースタイルスキーについて除けり乍ら、世間の認知度が高まりつつあるのが実情である。

まだまだ選手の練習環境の整備とかジュニアの育成等と解決すべき問題が多い現在であるが部会全員一丸となって問題解決に努めて行く所存である。

2. 委員長報告

委員長 大槻 謙

(1) 競技運営部

異常少雪のために開催地にはご迷惑をかけたが、第7回の全日本権権大会を開催し、地区大会も昨シーズンと同じく北海道、東京、長野の3地区で行われ、夏季には第2回のウオータージャンプ選手権大会を浜名湖で実施した。

又、F I S及び本連盟公認の下、カナダを初めとするヶ国より 人の選手を招聘し'87国際競技会をワールドカップなみのスケールで開催した(財団法人東京都スキー連盟主催)来日した世界トップレベルの選手が実に素晴らしい演技を披露してくれ、W.C未参加の日本選手に大きな刺激を与えてくれた。

2月には新潟県安塚町主催の“さよなら後楽園”のイベントに初めて本連盟公認でナショナルチームによるパレエ、エアリアルのデモンストレーションを行ったことも特筆すべきことであった。各大会の記録は次の通りである。